

## 熱心な取り組みが環境美化へ 第20回環境美化教育優良校等表彰の伝達式

2 / 4 [Tue]



▲左から高木潤弥さん、室中陽翔さん、荒島陽菜さん、内田瑞穂さん

公益社団法人食品容器環境美化協会が毎年行っている環境美化教育優良校等表彰に、県内では唯一、東原彦舎東部校が選ばれました。

環境美化教育優良校とは、公共の場の美化、または飲料空き容器等のリサイクルで環境美化に大きく寄与している小・中学校に贈られる表彰で、本年度は全国で35校が選ばれました。

伝達式では、学校代表の室中陽翔さんへ佐賀地方連絡会議の上田卓史主幹幹事から表彰状と記念品が贈られました。

生徒会長の荒島陽菜さんは「先輩たちが行ってきたアルミ缶回収や地域のごみ拾いをこれからも続けて行くよう後輩たちに繋げたい」と笑顔で話しました。

## 多久市みんなでワンチーム!! 第60回 都市対抗県内一周駅伝大会

2 / 14 [Fri] ~ 16 [Sun]

第60回都市対抗県内一周駅伝大会（主催：佐賀新聞社・一般社団法人佐賀陸上競技協会）が、2月14日から16日の3日間で行われ、全33区間（272.9km）を13チームが健脚を競い、多久市チームは、前年より順位を1つ上げて11位でした。

20区（3.3km）で笠原大輔さん（東原彦舎東部校）は、区間賞（9分58秒の区間新記録を樹立）、21区を走った古川照哉さん（東原彦舎中央校）もこれまでの区間記録を更新し、区間2位の力走。また、25区を走った園田勢さん（鳥栖工）も区間賞を獲得するなど、若い力が躍動した大会でした。

ネットトヨタ佐賀賞を受賞した笠原さんは「たくさんの応援のおかげです。中学最後の駅伝大会で区間新を出せたので嬉しかったです。また、次も走りたい」と話しました。個人敢闘賞には大森常正さんが選ばれました。



▲最後の力を振り絞ってラストスパートの笠原大輔さん

## 家族みんなに参加!! 第3回あじさい文化祭

2 / 16 [Sun]



▲いろんな種類の絵本が数多く並びました

第3回あじさい文化祭（主催：多久市児童センター）が児童センターあじさいで催されました。

当日はあいにくの天気でしたが、前回より100人以上増え、史上最多の333人が来場。

今回は、日頃利用している保護者の要望で、初めて“本の交換会”が行われました。各家庭から2～3冊ずつ絵本を持ち寄り、気に入った絵本と交換するこの企画では、参加者からは「今まで知らない絵本がたくさんあり、子どもがすごく喜んでいたので嬉しかったです。これからも続けて欲しい」と話されました。

このほかにも、科学体験教室や親子ダンス、音楽サークルによる発表会も行われ、中でもお父さんたちによるトランペット演奏では、生の楽器の音色に子どもたちは真剣に耳を傾けていました。